

日本製鉄 第65回大河内賞贈賞式に出席

日本製鉄株式会社(以下、「当社」)は「環境負荷低減型超ハイテン橋梁ケーブル用ワイヤ向け線材の開発」にて、第65回(平成30年度)大河内賞における「大河内記念生産賞」を受賞し、本年3月26日の贈賞式に出席いたしました。この度の受賞により、本開発は、「第47回(2014年度)市村産業賞本賞」、「平成28年度全国発明表彰/日本経済団体連合会会長賞」に続いて3件目となる、荣誉ある賞を受賞いたしました。

大河内賞は、故大河内正敏博士の功績を記念して、大河内記念会が我が国の生産工学・高度生産方式の実施等に関する顕著な業績を表彰する伝統と権威のある賞です。当社は3月26日に日本工業倶楽部会館で実施された贈賞式に参列し、賞状及び記念牌等の贈呈を受けました。



3月26日に開催された贈賞式にて

なお、当社では棒線事業ブランド SteelLinC®の下、高機能商品の開発強化の一環として、従来から高強度橋梁ケーブル用線材の開発を進めて参りました。

当社は独自プロセス(DLP; Direct in-Line Patenting)によって世界で初めて鉛フリー熱処理による高強度ワイヤ用線材の量産に成功し、センタースパンの長い多くの吊橋・斜張橋に採用いただいております。

本技術を活用することで従来の強度を超えるワイヤ製造が世界各地で可能となることから、数多く計画される世界の長大橋のみならず、構造物ロープや架空送電線などの交通・エネルギー分野への高強度ワイヤの素材供給を通じて、世界各国のCO₂削減・インフラ整備に貢献して参ります。

参考) SteelLinC®ウェブサイト/ 高機能商品「環境負荷低減型 橋梁ケーブル用鋼線材」ページ

<http://www.nipponsteel.com/steelinc/product/xsteelia/environmental.html>

以上